

べっぴん 市議会だより

No.45 平成12年5月1日

編集 市議会だより編集委員会
発行 別府市議会

住所 ☎874-8511
別府市上野口町1-15
☎0977-21-1111



平成12年度新年度予算など可決

3月定例会は、2月28日から3月22日までの24日間の日程で開かれました。平成12年度各会計予算（一般会計・11特別会計・水道事業会計）をはじめ、別府市介護保険条例の制定についてや、平成11年度一般会計補正予算など市長提出議案44件の審議が行われ、採決の結果、すべて原案のとおり可決、同意されました。

また、議員から提出された別府市議会委員会条例の一部改正についてや意見書2件も原案のとおり可決されました。

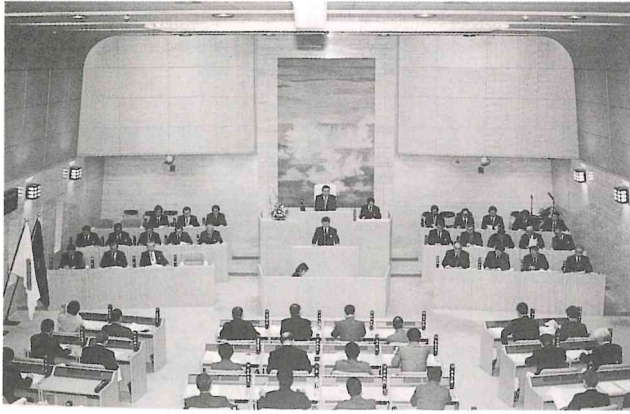
主な内容

主な議決……P2～3

議案質疑……P4

一般質問……P5～7

その他……P8



3 月 定 例 議 会 風 景

主な議決

三月定例会では、平成十二年度一般会計予算のほか、別府市介護保険条例の制定についてなど、議案四十一件が上程され、市長の提案説明に対する質疑の後、所管の常任・特別委員会へ付託されました。

これらの議案は、最終日に、所管の委員長より審査の経過と結果について報告がなされすべて原案のとおり可決されました。

続いて、市長から人権擁護委員の推せんなど三件の人事案件が追加提案され、いずれも原案のとおり同意されました。

議決された主な内容は次のとおりです。

補正予算

◎平成十一年度各会計（一般会計〈第五号〉、国民健康保険事業ほか四特別会計、水道事業会計）補正予算（原案可決）

今回が最終予算のため、各会計とも、決算見込額によって、歳入・歳出予算の計数整理を行ったものです。

新年度予算

◎平成十二年度別府市一般会計予算

副議長の就任

三月二十二日、山本一成副議長から辞職願いが提出されたのに伴い、副議長選挙が行われ、新たに首藤正副議長が選出されました。



首 藤 正
副 議 長

（原案可決）

主な内容として、「観光関係」では、観光客誘致及び観光情報推進に関する経費や奥別府観光の整備促進を図るため、志高湖・神楽女湖周辺整備のための経費、また別府の秋の祭りとして定着したドリムバルなどイベントに関する経費など。

「教育関係」では、亀川小学校の大規模改造工事にかかる経費や、老朽校舎の耐震調査費、さらに二巡目国体などを念頭においた総合体育館建設のための基本及び実施設計の委託料などを、また、「福祉関係」では介護保険制度の円滑な導入とともに要支援・要介護判定とならなかった自立者についての介護予防及び生活支援事業経費や基幹型在宅介護支援セ

条例の制定

ンター設置費、障害者の生活を支援するための経費や少子化対策の関連経費など。「環境関係」では、環境基本計画を策定する経費や水源かん養林造成経費、生ゴミ処理器購入補助金及び合併処理浄化槽設置費補助金など。また、国際化についての外国人留学生に対する奨学金制度、市内外国人子女等の教育相談活動費姉妹都市公式訪問経費、ワールドカップキャンプ誘致や世界地熱会議関連などに支出しようとするものです。

◎平成十二年度国民健康保険事業ほか十特別会計予算及び平成十二年度水道事業会計予算（原案可決）

◎地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定について（原案可決）

手数料及び過料に関する規定の整備等をおこなおうとするものです。

◎別府市介護保険円滑導入基金条例の制定について（原案可決）

国より交付された介護円滑導入臨時特例交付金を平成十二、十三年度の第一号被保険者保険料の軽減のための財源等に充てるために、基金を

設置しようとするものです。

◎民法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
(原案可決)

従来の禁治産・準禁治産制度が各人の判断能力及び保護の必要性の程度に応じた柔軟かつ弾力的な措置を可能とする、後見・保佐・補助の制度に改められることに伴い、関係条例を整備しようとするものです。

◎別府市介護給付費準備基金条例の制定について
(原案可決)

介護保険の運営の安定化を図るため、基金を設置しようとするものです。

◎別府市介護保険条例の制定について
(原案可決)

介護保険法が施行されることに伴い、その運用に関し必要な事項等を制定しようとするものです。

◎別府市墓地、埋葬等に関する法律施行条例の制定について
(原案可決)

墓地、納骨堂又は火葬場の経営に関する基準を定めるため、条例を制定しようとするものです。

条例の全部改正

◎別府市都市計画審議会条例の全部

改正について
(原案可決)

都市計画法の改正に伴い、別府市都市計画審議会の組織及び運営に関し必要な事項を定めようとするものです。

条例の一部改正

◎特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
(原案可決)

別府市立別府商業高等学校の非常勤講師の報酬を県立高等学校の非常勤講師の報酬に準じて改定することに伴い、条例を改めようとするものです。

◎別府市監査委員に関する条例の一部改正について
(原案可決)

監査委員の定数を改正することに伴い、条例を改めようとするものです。

◎別府市同和対策集会所の設置及び管理に関する条例の一部改正について
(原案可決)

機構改革の実施に伴い、条例を改めようとするものです。

◎別府市国民健康保険税条例の一部改正について
(原案可決)

介護保険法が施行されることにより、国民健康保険税が医療保険分と介護保険分に区分され、介護保険分

の税率を規定すること、国民健康保険税の税率を改定すること等に伴い条例を改めようとするものです。

◎別府市公設地方卸売市場条例の一部改正について
(原案可決)

生鮮食料品等の区分に応じた売買取引の方法等が改められたことに伴い条例を改めようとするものです。

◎別府市有温泉施設等の設置及び管理に関する条例の一部改正について
(原案可決)

温泉施設使用料の額を改定することに伴い、条例を改めようとするものです。

◎別府市営湯都ピア浜脇の設置及び管理に関する条例の一部改正について
(原案可決)

浜脇温泉使用料の額を改定することに伴い、条例を改めようとするものです。

◎別府市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について
(原案可決)

市営松原住宅の設置に伴い、条例を改めようとするものです。

◎別府市特定公共賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について
(原案可決)

市営松原住宅の設置に伴い、条例を改めようとするものです。

その他

◎別府市営クレイ射撃場の長期かつ独占的な利用について
(原案可決)

大分県クレイ射撃協会に長期かつ独占的な利用を認めようとするものです。

◎別府市浜脇野菜集出荷場の長期かつ独占的な利用について
(原案可決)

別府市農業協同組合に長期かつ独占的な利用を認めようとするものです。

◎旧慣による公有財産についての権利を廃止することについて
(原案可決)

大分県施行の道路改良工事に伴う旧慣使用権の廃止を行おうとするものです。

◎市道路線の認定及び廃止について
(原案可決)

認定路線ノ新ノ掛前一号線ほか廃止路線ノ扇山四十六号線

◎別府速見地域広域市町村圏事務組合規約の一部変更について
(原案可決)

介護保険法に基づく事務のうち指定居宅サービスに関する業務を実施するため規約の変更をするものです。

案 疑 議 質

議案質疑は、執行部が提出した予算や条例などの議案に対し質疑を行います。

三月九日に十二名の議員が行いました。そのうち、主な質疑内容を掲載いたします。

別府アルゲリッチ音楽祭に要する経費について

問 アルゲリッチ音楽祭は別府市の一村一文化ということで、平成七年から始まり、平成八年は、アルゲリッチ女史の急病により開催の取り止めになった以外は例年開催されてきた。平成十一年も開催されたが、この負担金一千万円の支出が未執行

になっている問題で、議会の総務文教委員会の調査会等でも議論がなされ、世界的にも有名な、この音楽祭の灯を消してはならないという観点から多くの市民も心配をしている。

支出が未執行になっている現状について説明願いたい。

答 アルゲリッチ音楽祭は別府で生れ、別府で育ててきた。事前の協議

がなく、平成十一年の音楽祭の開催について、最も重要視される初日の開催を大分市で行うとの実行委員会からの突如の連絡に対し、幹事会の中でも反対があり、また、大事な公金を支出するのに大分市開催は市民感情としていかななものか、と負担金の支出を見送ってきた。かわりにコンベンションビュローのアルゲリッチ振興基金から一千万円を支出したところである。

別府市としては、平成十二年度もこの音楽祭に対する負担金を予算化しており、なお一層すばらしいアルゲリッチ音楽祭にしていこうという考えであることには変わりない。

この度、退任された実行委員長と副実行委員長の労をねぎらいながら、新しい体制になった実行委員会と今回問題になった諸問題について、協議を重ねて、より良い方向に進むよ

う努力したい。また、未執行になっている、平成十一年度の負担金支出については、コンベンションビュローに一千万円を支出しアルゲリッチ音楽祭振興基金に繰り戻しを行うという方法をとりたい。

総合体育館建設に要する経費について

問 総合体育館建設に要する経費について、総合体育館基本実施設計委託料として、一億四千五百三十一千円が予算計上されている。基本設計のあとに手順を踏んで、実施設計を行うのが通常である。今回のように基本設計と実施設計委託料が同時に予算計上されるということは、建設場所や建物の規模、建設事業費等が決定しないと、このような予算計上はできないはずだ。

この体育館の建設場所、時期、規模等について明らかにすべきだ。

答 総建設費を四十五億円程度と考えている。建設年次については平成十二年度の前半に基本設計、後半に実施設計を委託して、平成十三年度に建設着工、平成十四年度に完成とこういうことを考えている。

場所については、まず別府市有地

であること、体育館が大規模であるため一万平方メートル以上の面積を有すること、最も有利な都市公園整備事業の補助金が受けられる場所であること。これらを最低条件として、検討した結果、現段階では別府公園と実相寺中央公園の二か所を候補地として想定している。

問 実相寺中央公園はワールドカップサッカーのキャンプ誘致の候補地であり、建設は困難である。あとは別府公園であり、公園指定区域内の別府球場が、おのずから予定地になるのではないか。テニスコートや野球場が取り崩され、従来行われていたスポーツに支障があつてはならない。

答 大きな事業であるので、建設推進委員会を設置して全庁体制で事業を推進しているところである。

指摘の件については、野球関係や他のスポーツ関係者と十分協議を行い理解をいただきながら、計画を実行していくつもりである。

また、この体育館は単に二巡目国体のための施設ではなく、別府市の観光浮揚策となることなども考慮にいれながら、とりわけ、別府市が推進しているスポーツ観光、あるいはスポーツ振興の拠点になるような総合体育館を建設したい。

一般

質問

一般質問は、市の行政全般にわたり事務の執行状況や将来に対する方針などを質問するものです。三月十日から十四日までの三日間、二十二名の議員が市当局の見解をたきました。

主な内容は次のとおりです。

環境悪化、③環境悪化、④競輪事業への影響、⑤国際温泉文化都市としてふさわしい施設か、以上の理由で反対運動の支援を協力に進めていく。当局も厳然とした、しかも先見の明を持って全市的に判断してほしい。

場外馬券売場と学校統合について

進場外馬券売場反対

猿渡 久子	平野 文活
松川 峰生	池田 康雄
野口 哲男	野田 紀子
堀本 博行	田中 祐二
高橋 美智子	後藤 健介
佐藤 博章	井田 逸朗
富田 公人	清成 宣明
泉 武弘	河野 数則
岩男 三男	原 克実
江藤 勝彦	首藤 正
伊藤 敏幸	村田 政弘

(議席順)

問 昨年の九月議会の最終日に進出反対の請願を賛成多数で採択したが、

業者は依然断念していない。許認可権を持つ農水省によると、地元住民の意志と警察の意見が判断材料の中心になる。①交通渋滞、②青少年の

答 その都度説明会を持つ予定である。

別府アルゲリッチ音楽祭について

問 別府アルゲリッチ音楽祭は、国際観光温泉文化都市として文化的価値ある地域興しモデル事業であり、内外に高い評価を受けている。負担金を凍結したことに反省はないのか。

答 大分で開催されたことに負担金を支出したら、別府市民から大きな批判を受けることになる。名誉をかけて支出を差止めた。市内の多くの文化団体を支援することで、文化振興に今後取り組んでいく。

アルゲリッチ音楽祭について

問 別府アルゲリッチ音楽祭は、別府の音楽文化を向上させ、将来世界一流のアーティストによる世界的音楽祭を別府で開催し、世界へ向けて音楽文化を情報発信したいという世界的ピアニストのアルゲリッチ女史によって開催されている。この意義を認識し、今回の負担金凍結問題のようないいよう発展に向け取り組むべきだ。

答 本来的意義をしつかり踏まえ、関係団体とも協議し、円滑な開催に

学級崩壊について

向け、努力したい。

問 学級崩壊を防止するにあたり、その対応策は。

答 ①校長の強いリーダーシップのもと、早期発見・早期対応を行い、担任だけの問題とせず、学校全体で相互に協力する体制を作る、②チームティーチング等の協力的指導体制の確立と校内組織の活用、③保・幼・小・中学校の十分な連携、④教師の意識改革、⑤家庭教育、特に幼児期における躾をしつかりとする、⑥社会生活の基本的習慣を確立する。

学校五日制への十分な対応を！

問 児童・生徒対象の社会教育の講座等が未整備で、学校五日制に向けた取り組みが不十分である。

答 既存の社会教育施設、体育館等を利用した細部の検討を急ぎたい。

問 別府商業高校の活性化を学校の特色づくり、部活動の振興と併合して推し進めるべきではないか。教育委員会は教職員の意向を十分に汲み上げるシステムづくりを急げ。

答 施設整備はもちろん人事、カリキュラムについても検討したい。

校長が変われば 学校が変わる？

問 四月一日から、小中学校の校長・教頭が民間から登用できるようになり、校長の相談相手として学校の評議員を設けるようになったと聞くが、その要旨について説明を願う。

答 今回の改正は学校長のリーダーシップのもと組織的、機動的に学校が運営され、子供たちの実態や地域の実情に応じ特色ある学校づくりができるよう校長や教頭の資格要件を緩和し、職員会議と学校評議員に関する規定を設けている点にある。

南小、浜脇小の 統廃合問題

問 統廃合の基礎資料となっている別府市の人口について、教育委員会は別府市基本構想の人口、特に〇～十四歳までの年少人口について三、七七八名も少ない独自の推測人口を資料として使用しているが、これは議会で決議した別府市基本構想を無視したものであると同時に、自治法第二条五項に定める基本構想に即した事務を実施しなければならないとあることに違反するのではないか。

答 基本構想の人口は、過去の人口変動の傾向から、純推計的に数値を

求めるコーホート要因法を採用。

国立市営住宅について



高層住宅への提案がされた国立団地

問 国立団地は老朽化がひどいため募集をしても希望する人はほとんどいない。幸いに公園の広さは十分で道路も広い上、APUの開学に伴い亀川駅の西口も必ずできる。高層住宅に建て替えるとともに、一部は大分市の駅南高齢者福祉複合施設のようなものを併設してはどうか。

答 国立団地は築後三十年経過し、市営住宅再生計画の中でも建て替え予定になっている。亀川地区は人ややさしい福祉のまちづくりを進めていることもあり、提案については福祉関係者とも協議していきたい。

火災等の情報 伝達を改善

問 火災等が発生した場合、現在21

4949のダイヤルを回せば火災発生場所を知らせるテレガイドを設置しているが、火災の時間い合わせが殺到し、いつも話し中で、つながったことがないと苦情の声が多い。家に子供や高齢者を残し働く人達や市民に安心感を与えるため、一度に多数の人が問い合わせても話し中にならないテレドーム方式を導入するよう提案する。

答 緊急性という点から検討し、次の補正予算で取り組みたい。

税金の高額滞納者の 氏名公表を！

問 本年四月一日をもって地方分権が実施される。地方分権推進法では地方税財源の充実確保や、行政の公正さと透明性の向上等を明記！

小田原市は、納税の公平感を阻害する滞納者の氏名公表を条例化しようとしている。別府市も氏名公表を！

答 地方分権の先取りのような小田原市の対応には敬意を表したい。秘密漏洩や守秘義務との絡みが整理されれば、喜んで採用したい。今後の検討課題としていきたい。

出産一時金の 給付に詳しい

問 現在女性が一生の内に子供を産

む数は一・三八人、この少子化に歯止めをかける必要がある点から、政府において児童手当の大幅な拡充が手掛けられているが私はその前段の出産そのものについて伺いたいが出産一時金を退院前に支給できないか。

答 別府市では申請した翌週の水曜日に支給している。急ぐ方については医師の出産証明書を退院の二～三日前までに提出していただければ、出産一時金三十万円を退院までに支給するようにしたい。

スポーツ観光の 基本整備促進を

問 総合体育館建設をはじめ二巡目国体に向けての整備が進むが、ワールドカップキャンプ地誘致もあり、その施設利用について真剣に検討、協議を重ね、それら施設がスポーツ観光につながる計画となるよう当初から設計すべきと思うがどうか。

答 当然そのように計画検討の必要があると考える。スポーツを観光のひとつの柱と位置付け、競技大会誘致、施設整備の充実、発展に更なる努力を傾注したいと考えている。

景気対策と観光振興 について

問 観光立市である当市は深刻な経

済状況であり、経営者は労働者の雇用を守るため血の出るような日々の経営に取り組んでいる。更なる景気対策と定住人口の増加策としての情報関連産業等の育成と目的税である入湯税を九十%以上観光振興費に充当すべきではないか。

答 平成十二年度は景気対策予算と考えているが、定住人口の増加策等更なる景気対策と入湯税の充当費目については今後前向きに検討する。

中心商店街活性化法 適用について

問 中心商店街活性化法について、その後の経過を説明願いたい。

答 去る二月二十四日に別府市中心市街地活性化基本計画策定委員会より市長あて答申がなされ、基本計画書を国に提出し、了承されたので、計画書を作成し、公表する。

問 大分留学生会館の北小横の建設については、地域住民、北小PTAの意見と不安を十分吸い上げ、真摯に対応するよう要望する。

大分学生交流 会館について

問 大分学生交流会館の建設予定地は、温泉課の行政財産だったと思うが、一月十一日に開催された全員協

議会の際には、すでに普通財産へと移管されていたのか。

答 二月十五日から三月一日まで地質調査を実施し、九階建ての建物の建設は可能であるとの正式な書面による報告を受けて、温泉課の行政財産から普通財産へ移管した。

産業処理場と 留学生宿舍対策

問 古賀原産業廃棄物処理場は集落のど真中で、しかも水源の真上に設置されており、住民は撤去を求めている。市長自ら住民と話し合い、解決の方途を探るべきだ。

答 環境は市政の重点施策の一つであり、解決のため努力したい。

問 留学生の宿舍については、市が留学生村構想を持ち、立命館の責任で整備すべきだ。その具体策として亀川駅ビルはどうか。

答 検討したい。

留学生の感染症 予防対策

問 APUの外国人留学生の感染症の予防対策はどうなっているのか。また、万が一、感染症の患者が出た場合の対策はどうなっているのか。

答 APUの場合は、入学後、直ちに留学生を含むすべての学生に対し

健康診断を実施する。その後も毎年一回定期健康診断を実施する。感染症の予防としては、別府市医師会、保健所、別府市、学校医、APUの構成メンバー「健康管理支援ネットワーク」で対策していく。

水道局の企業手当 について

問 水道局の給与条例の特殊勤務手当の中に企業手当については、今の社会情勢に合わないのではないか。

答 企業手当について見直し、検討する。

「自立」の支援 について

問 高齢者の健康保持のための保健事業と現在五人の保健婦の増員は。答 高齢者の健康教室や訪問活動を強める。保健婦については十二年度に二人採用し、今後は年次計画で増員に向け検討していきたい。

問 自立支援事業の個人負担費用は。答 介護保険利用料と同程度。

問 特別養護老人ホームの待機者が入所定員数以上いるが、対策は。答 在宅介護が主になる。

問 指定文化財の修理費用は。答 原則として所有者負担だが予算

の範囲内で補助することもできる。

コンベンションセンター の運営について

問 ビーコンプラザがオープンし五年が経過したが、利用率は年々減少している。管理運営の見直しと営業体制の強化が一番大切であり、第三セクターとしてプロパーを育成することが望まれる。今後どのように強化していくのか。

答 当初二十四人体制でスタートしたが現在は十七人と減少している。今後は他市のコンベンション施設を参考にし、プロパーの育成と営業活動の強化を検討していく。

セクハラなど 人権侵害について

問 コンベンションビューロー元部長の地位保全裁判でセクハラなどの人権侵害があったことを証明する証拠書類があったのではないか。

答 同ビューローの職場でセクハラなどの人権侵害があったとの関係者の陳述とその証明書がある。

問 極めて重大、調査すべきだ。答 早急に調査する。

問 侵害の事実調査を今日までしなかったことが大変な問題である。答 その重みを十分認識している。

委員会構成

(○委員長 ○副委員長、議席順で掲載)

委員会名	所 管 事 項	委 員 名
総務文教 委員会 (8名)	行財政・組織・人事・事務管理・消防・ 防災・救急体制・学校教育の充実、社会教 育の推進などについて審査及び調査します。	○黒木愛一郎 ○河野 数則 平野 文活 山本 一成 富田 公人 佐藤 岩男 泉 武弘 原 克実
観光経済 委員会 (9名)	観光振興・温泉の整備充実、商工業の育 成活性化、競輪場の管理運営、農林水産業 の振興などについて審査及び調査します。	○田中 祐二 ○野口 哲男 猿渡 久子 堀本 博行 永井 正 三ヶ尻正友 江藤 勝彦 首藤 正 矢野 彰
厚生 委員会 (7名)	福祉施策の充実、健康の増進と医療・保 険体制の充実、環境・交通対策の推進など について審査及び調査します。	○松川 峰生 ○朝倉 斉 池田 康雄 高橋美智子 後藤 健介 井田 逸朗 伊藤 敏幸
建設水道 委員会 (8名)	都市計画及び開発の推進、上水道・下水 道・道路整備、公園・緑地の整備、市営住 宅の整備などについて審査及び調査します。	○内田 有彦 ○吉富英三郎 野田 紀子 佐藤 博章 清成 宣明 岩男 三男 浜野 弘 村田 政弘
議会運営 委員会 (8名)	市議会の円滑な運営を図るため、議事の 運営その他必要な事項を協議します。	○江藤 勝彦 ○富田 公人 吉富英三郎 野田 紀子 山本 一成 佐藤 博章 永井 正 岩男 三男



熱心に審議を見守る傍聴の方々

傍聴のご案内

- ◆ 本会議はどなたでも傍聴できます。
- ◆ お気軽に議会棟4階へお越しください。
- ◆ 次の定例会は6月上旬に予定しております。

人 事

次の人が、助役及び人権擁護委員に全会一致で同意されました。

○助役の選任について
大塚 茂樹氏 (新任)
(経歴)

昭和41年4月 大分県採用
平成4年4月 東京事務所次長兼企業立地第一課長
平成7年5月 別杵速見地方振興局長
平成9年4月 商工労働観光部産業振興課長
平成10年4月 企画部過疎・地域振興対策局長
平成11年8月 企画文化部過疎・地域振興対策局長

三浦 義人氏 (新任)
(経歴)

昭和44年11月 別府市採用
平成3年5月 企画部秘書広報課長
平成4年4月 福祉事務所児童福祉課長
平成6年4月 市民生活部同和対策課長
平成7年7月 総務部財政課長
平成9年4月 総務部長

○人権擁護委員の推薦について
田中 恒生氏 (新任)
石垣東4丁目4番5号

意見書

議員より意見書2件が提出され次のとおり表決されました。
可決された意見書は直ちに関係機関へ送付されました。

(原案可決)

- 再生可能な自然エネルギーの積極的導入を求める意見書
- 森林・林業・木材産業基本政策の確立に関する意見書

お願い

政治家が、入学、卒業、就職・結婚・出産などのお祝いや各種会合へ祝儀などの寄付をすることは禁止されています。
政治家に、寄付を勧誘・要求することを禁止されています。